

(別添資料1)

事業所名 放課後等デイサービス はなぐるま賀来

支援プログラム（参考様式）

作成日

7 年

4 月

21 日

法人（事業所）理念		別紙参照			
支援方針		一人ひとりに対して丁寧な療育を行っていきます（一人ひとりの個性を理解し、それぞれに適した療育をし、成長の場所を提供します。また、様々な経験・体験の場を用意することで、一人ひとりが「生きる力」を身に着けていくことを目指します。			
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで
		送迎実施の有無		あり	なし
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	○健康状態の維持や改善 ○基本的生活スキルの習得 ○日常生活動作（ADL）スキルの獲得（利用毎に検温・手洗いうがいを行い、小さなサインから心身の変化に気づけるよう支援します。食事・マナー・睡眠・排せつ・着替えなど、基本的な生活リズムを身に着け、安全な生活を自身で送れるよう練習します。）			
	運動・感覚	○正しい姿勢を身に着ける ○運動を通じて感覚統合を促す（子ども自身が姿勢に意識を向けれるように促し、運動や遊びで体感を鍛え適した環境を整える。粗大運動（全身を使った大きな動き）や微細運動（手先を使った細かい動き）を通じて身体機能の向上を目指し、運動を通して達成感や成功体験をつみ重ねることで自信を持つことができるようになる。楽しみながら行う。）			
	認知・行動	○認知の発達と行動の習得 ○空間・時間、数などの概念形成の習得 ○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得（日付・曜日・天気・予定など、視覚でわかるよう掲示します。個々の感覚特性に配慮した環境を整え、苦手の課題にも取り組めるような声掛けや配慮を行う。タイマーを用いて活動の切り替えを視覚と聴覚にて促し、時間を意識して自ら行動することを支援します。）			
	言語コミュニケーション	○コミュニケーション基礎能力の向上 ○言語の形成と活用 ○言語の受容及び表出 ○コミュニケーション手段の選択と活用（自分の言葉で気持ちを伝える、相手の気持ちを知るなどSSTや集団活動を通じて行う。集団活動では、他児との関りが持てるような活動を提供し支援員が間に入り援助する。個々の特性に合わせ、言葉や絵カード、身振りなどを用いてコミュニケーション手段を活用します。）			
	人間関係社会性	○他者との関りの形成（人間関係） ○自己の理解と行動の調整 ○仲間づくりと集団への参加（集団活動を通じて、他者（他児）との関りやルール、距離感を理解できるよう支援します。積極的に他者（他児）と関りの持てる活動を行う。他者との適正な距離感を把握が出来るように、適宜声掛けを行い、他者との良好な関係形成を支援します。）			
家族支援		保護者面談や、送迎時に当事業所での様子をお伝えし、家庭での様子の聞き取りなど情報の共有を行っていく。本児の発達課題や思春期の課題等の助言や兄弟、家族の困り感に寄り添わせて頂きます。		移行支援	学校や関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的に支援を行える環境を作り、支援します。
地域支援・地域連携		地域の社会資源を積極的に活用し、遊びや体験、交流の場を広げていく。		職員の質の向上	・毎日のミーティング・意見交換や情報共有・毎月の事業所会議実施 ・虐待研修の実施・研修会の参加と伝達講習
主な行事等		・季節ごとのイベント（誕生日会、夏祭り、クリスマス会等・・・） ・避難訓練 ・戸外学習（お買い物や電車体験等・・・）			